

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501213
事務事業名	公共下水道事業			会計	公共下水道事業会計
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	項
施策目標	自然と共生した環境の創造				
施策項目	自然環境の保全と共生				
前期計画掲載頁	79	頁	個別計画		頁
事業期間	平成3年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大田市公共下水道条例

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理施設の整備による、公共用水域の水質保全と生活環境の改善及び汚水処理人口普及率の向上 施設の老朽化による更新費用の増加や、人口減少等による社会情勢の変化に対する維持管理費等の増加対策 								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 大町浄水センター及び、松川浄水苑の整備と、安定的な運転管理 管渠及び下水道関連施設の整備及び適正な維持管理 施設の最適な改築更新 								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		898,150,119 円	927,200,186 円	794,105,219 円				
	財源内訳	国庫支出金	136,900,000 円	81,215,000 円	101,600,000 円				
		県支出金							
		起債	225,100,000 円	235,200,000 円	192,100,000 円				
		その他財源	536,150,119 円	610,785,186 円	500,405,219 円				
一般財源		0 円	0 円	0 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	実績値		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	下水道事業収益(税抜)	千円	1,193,001	1,046,810	1,059,238	1,036,342	102.2%	1,059,238
	②	水洗化率	%	70.7	72.5	72.8	73.2	99.5%	73.2
③	接続率	%	61.8	62.1	63.0	62.4	101.0%	63.9	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	純利益（税抜）	千円	101,525	24,305	99,369	25,034	396.9%	87,604
	②	現金預金	千円	282,481	264,455	351,700	261,758	134.4%	327,425
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	3	3	3	3	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が必要となり、事後対応による改築更新では水質事故等に繋がる恐れがあり、また道路陥没等の重大な事故の恐れも危惧され、コスト的にも不経済なため限られた財源による最適で計画的な改築更新が必要である。また広域化・共同化の検討も積極的に進めていく。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>老朽施設の計画的な更新を行い、公共下水道事業会計の安定的な経営のため経営審議会等を活用し検討していく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	401111			
事務事業名	水道事業			会計	水道事業会計			
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	項			
施策目標	自然と共生した環境の創造							
施策項目	上水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用							
前期計画掲載頁	80	頁	個別計画	大田市水道ビジョン	頁			
事業期間	大正	12	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	大田市水道事業等の設置等に関する条例

事業の目的	水道水源の保全や計画的な施設整備と老朽施設の計画的な更新や耐震化を推進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。								
事業内容	送配水管等の計画的な更新、水道料金等の賦課・徴収、並びに水道事業会計の安定的な運営に努めている。								
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	総事業費（決算額）		139,003,170 円		226,298,506 円		266,123,090 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		11,195,241 円		8,197,606 円		5,852,580 円	
一般財源		127,807,929 円		218,100,900 円		260,270,510 円			
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	水道事業収益（税抜）	千円	533,875	533,055	537,861	533,000	100.9%	537,861
	②	原水供給収益（税抜）	千円	29,837	31,202	33,033	32,000	103.2%	35,000
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	純利益（税抜）	千円	108,903	93,786	115,946	89,097	130.1%	48,599
	②	現金預金	千円	876,784	494,139	583,488	486,228	120.0%	491,625
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	3	3	3	3	3		18	

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>収益的収入において、給水収益は給水人口の減少と節水志向のため、減少傾向は今後も続くものと考えられる。原水供給収益は安定的に推移しており、給水収益の減少を補う重要な収益源となっている。</p> <p>送配水管の更新により管の耐震化を図り自然災害へ備える必要があり、今後もこれら更新事業に併せ設備の更新を計画的に行っていく。併せて、投資と現金収支のバランスに留意し、将来の配水池築造等の大規模投資のための留保資金の確保と健全な財政運営に努めていく。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>安心で安全な水道水の安定的な供給のため、老朽施設の計画的な更新を行い、水道事業会計の安定的な経営のため経営審議会等を活用し検討していく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設部	上下水道課	経営係	事務事業No.	601211
事務事業名	農業集落排水事業			会計	農業集落排水事業特別会計
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	項
施策目標	自然と共生した環境の創造				
施策項目	自然環境の保全と共生				
前期計画掲載頁	79	頁	個別計画		頁
事業期間	平成5年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大田市農業集落排水施設条例

事業の目的

- 生活排水処理施設の整備による、農業集落の水質保全と生活環境の改善及び汚水処理人口普及率の向上
- 施設の老朽化による更新費用の増加や、人口減少等による社会情勢の変化に対する維持管理費等の増加対策

事業内容

- 農業集落排水処理6施設の整備及び適切な運転管理
- 管渠及び関連施設の整備及び適正な維持管理
- 施設の最適な改築更新

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	67,389,970 円	61,750,722 円	66,584,783 円
	国庫支出金	7,000,000 円	0 円	1,700,000 円
	県支出金	円	円	円
	起債	円	円	円
	その他財源	60,389,970 円	61,750,722 円	64,884,783 円
	一般財源	0 円	0 円	0 円

活動指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 下水道事業収益(税抜)	千円	114,622	112,419	106,849	111,295	96.0%	106,849
② 水洗化率	%	91.0	91.7	92.0	92.4	99.6%	92.4
③ 接続率	%	79.5	79.6	79.9	79.7	100.3%	80.1

成果指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 純利益（税抜）	千円	22,636	18,803	15,617	18,515	84.3%	17,775
② 現金預金	千円	22,952	37,639	42,737	37,163	115.0%	42,526
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<p>今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が必要となり、事後対応による改築更新では水質事故等に繋がる恐れがあり、また道路陥没等の重大な事故の恐れも危惧され、コスト的にも不経済なため限られた財源による最適で計画的な改築更新が必要である。また広域化・共同化の検討も積極的に進めていく。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<p>老朽施設の計画的な更新を行い、農業集落排水事業会計の安定的な経営のため経営審議会等を活用し検討していく。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	401111
事務事業名	温泉引湯事業			会計	温泉引湯事業会計
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	項
施策目標	自然と共生した環境の創造				
施策項目	安定した温泉の供給				
前期計画掲載頁	80	頁	個別計画		頁
事業期間	平成11年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大町市水道事業等の設置等に関する条例・大町市温泉引湯事業実施要綱

事業の目的	貴重な地下資源である温泉を活用し、市内の産業振興、地域開発及び市民福祉の向上を図る。							
事業内容	源泉から集めた温泉を上原分湯槽まで約7.8km引湯し、契約者に温泉を供給する事業で、24時間安定して温泉を供給するため、源泉や引湯施設の適切な維持管理と計画的な更新を行う。							
事業費	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）	59,845,818 円	48,706,985 円	54,575,844 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円			
		県支出金	円	円	円			
		起債	円	円	円			
		その他財源	240,000 円	円	円			
温泉引湯会計一般財源		59,605,818 円	48,706,985 円	54,575,844 円				
活動指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	① 供給件数	件	9	9	9	9	100.0%	9
	② 日常点検	日	233	242	241	246	98.0%	242
	③ 引湯管更新	m	0	60	132	130	101.5%	-
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	① 年間総供給湯量	m ³	582,890	577,634	577,634	577,634	100.0%	577,634
	② 引湯管更新率	%	15.3	16.1	17.8	17.7	100.6%	17.8
	③ 純利益（税抜）	円	10,826,923	20,528,125	13,419,740	14,586,000	92.0%	9,748,000
	2. 数値で表せない効果 （指標）							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	2	3	3	3	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>引湯施設は、葛から上原分湯槽まで延長約7.8kmの引湯管のほか、集中管理室などの建物や設備も多くあり、その大部分が耐用年数を過ぎ更新の時期を迎えている。しかし、資金面から短期間での更新は困難である。施設の適切な維持管理で延命対策を講じ、安定的な供給を確保していく。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>○温泉の安定供給を確保するため、引き続き優先度の高いところから計画的に施設更新を進めていく。 ○引湯事業の健全経営を維持し、施設更新の財源を確保のため、適正な料金水準を確保していく。</p>	

事務事業評価票

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	122111				
事務事業名	水道施設整備事業			会計	公営簡易水道事業特別会計				
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	2	項	1	目	1
施策目標	自然と共生した環境の創造								
施策項目	上水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用								
前期計画掲載頁	80	頁	個別計画	大田市水道ビジョン				頁	
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	大田市公営簡易水道事業

事業の目的	水道水源の保全や計画的な施設整備と老朽施設の計画的な更新や耐震化を推進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。								
事業内容	老朽化した総配水管の布設替と共に耐震化を促進し、水源ポンプ場や配水池に設置している電気計装・機械設備の更新を計画的に実施し水道水の安定供給を図る。								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		57,909,600 円	52,768,800 円	66,100,650 円				
	財源内訳	国庫支出金		円	円	円			
		県支出金		円	円	円			
		起債		27,100,000 円	23,100,000 円	24,100,000 円			
		その他財源		27,100,000 円	23,100,000 円	23,700,000 円			
一般財源		3,709,600 円	6,568,800 円	18,300,650 円					
活動指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	送配水管布設替	m	1,039	248	760	600	126.7%	350
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	耐震化率	%	18.2	18.9	19.3	19.2	100.5%	19.6
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	適正である			
点数	3	3	3	3	1	3		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
<p>小規模な水源と配水池等による中山間地に点在する集落への安定した水道水の供給にあたっては、施設の老朽化をはじめ、自然災害による影響を受けやすくなっている。管路延長も長く水源及び配水池等の水道施設における電気計装・機械設備も数多くあり、故障や異常を監視するためには、計装設備を良好な状態で使用し、異常発生の際には迅速な対応をとる事が重要となっている。地区住民の安心・安全な生活の基本である安定した水道水の供給を図るためには、必要度や緊急度に応じた計画的な管路の布設替や計装設備の更新は今後も必要となってくる。給水人口の少ない簡易水道では施設の維持管理費や建設改良費が割高な投資となっているが、料金収入は限られており費用対効果、投資効果としては低い評価となっている。</p>										
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）										
<p>安心・安全な水道水の安定的供給を確保するため、計画的な管路の布設替や計装設備の更新を図る。</p>										

事務事業評価票

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	1715107				
事務事業名	温泉供給事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	7	項	1	目	5
施策目標	自然と共生した環境の創造								
施策項目	安定した温泉の供給								
前期計画掲載頁	80	頁	個別計画						頁
事業期間	平成	26	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 上原地区温泉施設管理要綱、高瀬分譲地温泉施設管理要綱	

事業の目的	源泉の保全と温泉の有効活用により、市の観光振興と市民福祉の向上を図る。								
事業内容	源泉を保全し、利用者に安定して温泉を供給するため、日常点検を通じて施設を適切に管理し、老朽化の著しい施設は計画的に更新を行う。								
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	総事業費（決算額）		119,218,650 円		75,920,048 円		60,211,971 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債	86,200,000	円	37,500,000	円		円	
		その他財源	26,073,018	円	23,146,680	円	60,211,971	円	
一般財源		6,945,632	円	15,273,368	円	0	円		
活動指標	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	達成率	次年度（R元）
								(%)	目標値
	①	日常点検	日	230	236	244	246	99.2%	242
	②	温泉郷配湯管更新	m	804	829	441	449	98.2%	298
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	上原地区供給湯量	ℓ/分	45	45	45	45	100.0%	45
	②	高瀬分譲地供給湯量	ℓ/分	177	177	174	174	100.0%	174
	③	温泉郷配湯管更新率	%	23.5	46.0	57.5	58	99.1%	65.5
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	2	3	3	3	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
上原地区や高瀬分譲地へは安定して温泉を供給できている。 大町温泉郷では、配湯管の老朽化が著しく、漏湯の発生が多く見られることから、漏湯の解消と安定供給を図るため、配湯管更新事業を令和5年度までの計画で取り組んでいる。	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
○継続して老朽管の更新を実施し、安定供給体制を確保する。 ○配湯管更新に伴い、施設賃借料の見直しを進める。	